

昭和村統合小中学校推進協議会

ともに学び、ともに育つ学び舎づくり

▶ 問合せ 教育委員会学校教育係 ☎ 24-5120



7月31日(木)、第4回推進協議会では、これまでの協議や川場学園への視察などを踏まえ、推進協議会の総意として「昭和村統合小中学校の学校制度は、義務教育学校がよい」と、協議をまとめました。

そこで、推進協議会では、保護者や住民の方々に義務教育学校制度について理解を深めていただけるよう地域説明会を実施することといたしました。また、8月25日(月)開催の第5回推進協議会では、地域説明会の日程や配布資料の確認を行いました。あわせて、これまでの推進協議会の主な協議資料を村ホームページに掲載することとしましたので、ご参照ください。

目指す学びのかたちは **義務教育学校** に

義務教育学校とは、小学校から中学校過程の9年間の義務教育を一貫して行う学校です。従来の6-3制度に縛られず、小中が一体となった1つの教職員組織(1人の校長)となっています。発達段階に沿って前期・中期・後期など意図的なまとまりを生かした、効率的な学習が期待できます。

義務教育学校のメリットやデメリット (推進協議会で議論された項目)

メリット	教員体制	▶ 教職員が増えることで、教科担任制の導入や専門性を生かした授業が可能になる ▶ 多様な教員との出会いが増え、子どもたちの多様さに対応できる機会が増える
	一貫教育	▶ 小中間の段差(中1ギャップ)を解消し、9年間を通じて系統的かつ持続的な学習を展開できる ▶ 地域の特徴をいかした長期的なカリキュラムの実施が可能となる
	子どもの成長	▶ 学年や学級の枠を超えた交流により、一人ひとりの個性を伸ばし、各段階でのリーダーシップ(主体性・自己肯定感・責任感・先導力)等を育む機会が増える
	人間関係	▶ クラス替えによる新鮮さや多様性理解の深まり、年齢の異なる多様な交流活動による思いやりや憧れ等の人間関係力の向上が期待される
デメリット	慣習の変化	▶ 小学校6年生での卒業式がなくなることへの寂しさ
	未知の部分	▶ 制度が新しいため、中長期の教育成果等が未知数である ▶ 義務教育学校に移行したら、もとの小・中学校制に戻せなくなるのではとの不安
	教員の働き方	▶ 教員の負担増が懸念される
	人間関係	▶ 9年間同じメンバーでの人間関係が固定化する可能性

義務教育学校制度地域説明会

保護者や地域住民の方々に向けた義務教育学校制度の説明会を下記の日程で実施します。

なお、今回の説明会では、建設場所の説明はありません。

小中学校保護者・地域住民向け説明会

日程	9月24日(水)	午後6時30分から	南小体育館
	29日(月)	//	昭和中体育館
	30日(火)	//	大河原小体育館
	10月2日(木)	//	東小体育館

保育園保護者向け説明会

日程	9月26日(金)	午後4時から	第一保育園
	10月2日(木)	午後3時30分から	子育保育園
	//	午後5時から	第二保育園

